

令和3年度第2回大磯町文化財専門委員会議 議事録

1. 日 時 令和3年7月9日（金）
開会時間／午後2時 閉会時間／午後4時
2. 場 所 大磯町役場 4階 第2委員会室
3. 出席者
(委 員) 薄井和男／委員長
田尾誠敏／副委員長
山崎祐子／委員
小澤朝江／委員
細井 守／委員

(事務局) 北水慶一／生涯学習課歴史・文化担当主幹兼郷土資料館副館長
東 真江／生涯学習課係長
原田睦子／生涯学習課主任主事

(オブザーバー)
国土交通省 関東地方整備局 国営昭和記念公園事務所 調査設計課長 藤井彰俊
国土交通省 関東地方整備局 国営東京臨海広域防災公園 調整係長 山野井一馬
国土交通省 関東地方整備局 営繕部 整備課 営繕設計審査官 馬場宏典
国土交通省 関東地方整備局 営繕部 整備課 保全指導・監督官 梅澤聖
国土交通省 関東地方整備局 営繕部 計画課 専門員 池田洋一
4. 傍聴者 1名
5. 教育長挨拶及び委員長挨拶

(開 会)
 - ・会議成立の確認
 - ・会議公開の確認
 - ・傍聴者有無確認
 - ・資料の確認

6. 前回会議録の確認

7. 議事

議題（１）令和３年度文化財関連事業の進捗状況について

事務局から資料の説明を行った。

- ・文化財専門委員会議は、今年度は５回の会議開催を予定している。
- ・御船祭については、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、７月１８日（日）に神事のみ行い、神輿はトラックに寄せ町内を巡回する。
- ・西小磯の七夕については、西小磯東は中止し、西小磯西は行事を縮小して実施する。行事内容としては、竹飾りを作り、昼間に道祖神巡りを行う。竹神輿や七夕踊りは実施しない。

主な質疑応答は以下のとおり

〔大雨の被害状況について〕

（委員） ７月３日（土）の大雨による文化財の被害状況はいかがか。

（事務局） 文化財ではないが、虫窪で土砂崩れがあった。文化財関連としては、高麗山の自然林からすぐ下の生涯学習館に土砂が少し流れ込んだが、遊歩道が崩れた等の大きな被害報告は聞いていない。

〔文化財消防訓練について〕

（委員） 文化財消防訓練の参加人数はどれくらいか。

（事務局） 文化財消防訓練は、消防団の練習も兼ねており、５０～６０人で実施した時もあった。コロナ禍のため、実施方法を消防と相談していく必要があると考えている。

○傍聴者１名入室

議題（２）西園寺公望別邸跡・旧池田成彬邸の町指定有形文化財の指定について（諮問）

- ・教育委員会教育長から文化財専門委員会議委員長宛に諮問書を提出し、説明を行った。

主な質疑応答は以下のとおり

〔門扉の文化財指定について〕

（委員） 門扉の指定名称について違和感がある。親柱が２本あるため、門扉ではなく門ではないか。

（事務局） 名称については、今後検討する。

〔カーペットについて〕

(委 員) カーペットはそのまま活用するのか。

(国) 残っている調度品を含めて文化財としての価値があると考えている。
カーペットについては、クリーニングして使えるかどうか等、一つ一つ調べて対応する。

議題（３）旧大隈重信別邸・旧古河別邸と旧古河別邸（陸奥宗光別邸跡）の現状変更について

①旧大隈重信別邸・旧古河別邸と旧古河別邸（陸奥宗光別邸跡）の保存活用計画について

- ・邸宅の概要、文化財保護の方針、防災体制、公開活用方針、管理体制等について、国土交通省から説明が行われた。
- ・文化財の保護の方針については、特に文化財価値の高い、当初材が残っているものは保存、次に文化財価値の高いものは保全、後から増築したものはその他と分け、補修改修撤去等を行う。
- ・防災体制として、建物の防火設備の設置や耐震補強等を行う。
- ・活用については、博物館として展示や講演会等のイベントを行う。

主な質疑応答は以下のとおり

〔邸園の管理について〕

(委 員) 邸園の管理は指定管理になるのか。

(国) 基本的には民間事業者に委託する。

〔飲食について〕

(委 員) 建物内での飲食についてはどうか。

(国) 火器を入れず、IH 等の熱源によって軽調理を行う厨房を整備するとともに、新築のエントランスで物販を行うなどを検討している。

②旧大隈重信別邸・旧古河別邸と旧古河別邸（陸奥宗光別邸跡）の現状変更について

- ・邸宅の現状変更について、国から説明が行われた。
- ・建物の廊下の段差の解消や耐震補強、トイレや詰所の改修をする。

議題（４）その他

- ・次回の文化財専門委員会議は、10 月上旬の予定。

(閉 会)